

次世代の学び舎づくり

京 都 市
総合教育会議

令和の幕開けとともに、
番組小学校創設150周年を迎えました。
時代を先取りしてきた
先人の教育改革のあゆみを礎に次世代の
学び舎づくりについて、
「学校の最大の応援団」であるPTAの
代表者にも参画いただき議論します。

— 本市教育理念 —

一人一人の子どもを
徹底的に大切にす

— 新学習指導要領の理念 —

生きる力
学びの、その先へ

小学校：令和2年～

中学校：令和3年～

高校：令和4年～

－生きる力を育む基本的な考え方－

確かな
学力

豊かな
心

健やかな
体

～知・徳・体の調和のとれた育成～

－確かな学力の育成－

授業改善

すべての教職員が、カリキュラムマネジメントや主体的・対話的で深い学びの視点から、創意工夫あふれる授業展開を目指しています。

また、教育委員会は研修や指導資料の充実を図り、優れた授業実践を支えています。

推進施策

- ・ スタートカリキュラムの作成
- ・ 小中一貫学習支援プログラムの活用
- ・ アクティブラーニングの視点からの指導方法改善実践研究
- ・ 本市独自予算での少人数教育
- ・ 全中学校での放課後学習, 全小中学校での土曜学習
- ・ 全市立高校での「学びの基礎診断」を活用した基礎学力定着に向けたPDCAサイクルの構築
- ・ 総合教育センター平日夜9時, 土曜夕方5時まで開館及び約5.5万点の教育関係資料の配架
- ・ 教員等の資質の向上に関する指標の策定及び同指標に基づく教員研修の実施



－確かな学力の育成－

生き方探究教育

産学公の連携の下，社会的・職業的自立に向け，必要な基盤となる能力や態度を育むため，「京都まなびの街生き方探究館」を拠点に，全校で「生き方探究教育」を推進しています。

推進施策

- ・ 京都市キャリア教育スタンダードの作成
- ・ スチューデントシティ・ファイナンスパーク体験
- ・ 生き方探究・チャレンジ体験（中学生）
- ・ 京都モノづくりの殿堂・工房学習
（小学4年～6年生）
- ・ 市立高校での約100社の企業等におけるインターンシップの実施
- ・ 総合支援学校デュアルシステムの推進



－豊かな心の育成－

伝統文化・芸術体験

文化庁の京都への全面移転を見据え，茶道・華道など生活に根付く伝統文化や優れた文化芸術に触れる機会を創出することで，豊かな人間性を育むとともに，次代の「担い手」「支え手」の育成を進めています。

推進施策

- ・ 全小学校での茶道・全中学校での華道体験の実施（令和元年～3年間で環境整備）
- ・ 能楽，日本舞踊，現代美術，演劇等の外部専門家等の派遣・体験
- ・ 全市立高校での茶道・能楽鑑賞等の実施
- ・ 市立幼稚園大会での京都市交響楽団による親子コンサート
- ・ 小学生のための音楽鑑賞教室
- ・ 障害のある方の芸術活動支援（天才アートKYOTO）



—豊かな心の育成—

道徳教育・自然体験

考え、議論する道徳を目指して

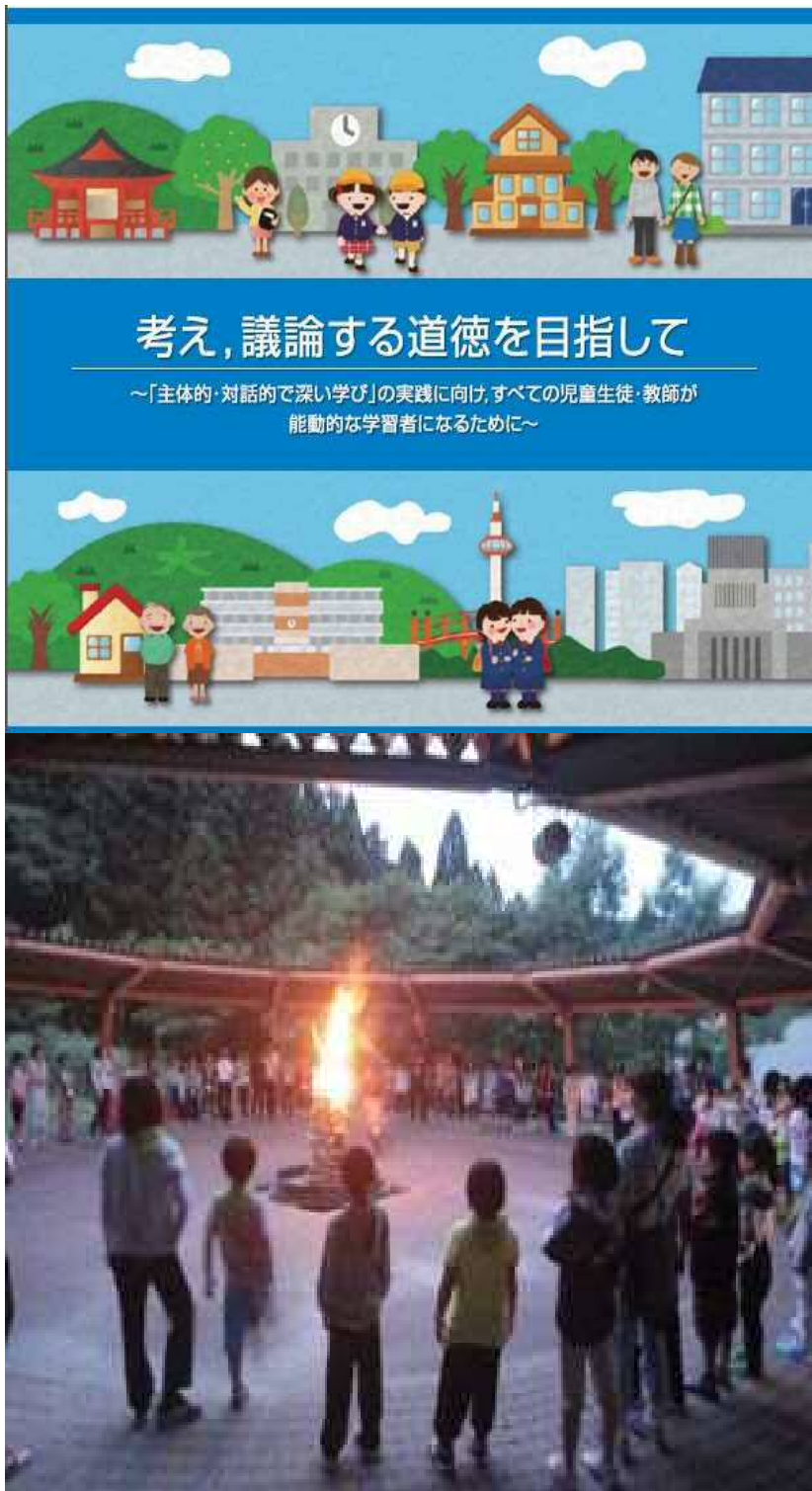
～「主体的・対話的で深い学び」の実践に向け、すべての児童生徒・教師が
能動的な学習者になるために～

幼稚園期には「遊び」を通じて協調性や自尊心等の非認知能力を育むとともに、小中学校においては「考え・議論する道徳」を実践し、子どもたちの道徳性や規範意識を育んでいます。

また、集団生活や自然の中での体験活動など長期宿泊体験活動を通して、責任感、豊かな人間性や社会性を育む取組を推進しています。

推進施策

- ・ 「考え・議論する道徳」の推進
- ・ 全校での道徳教育推進教師を核とした道徳教育の推進
- ・ 本市独自の道徳指導資料集の作成
- ・ 長期宿泊、自然体験推進事業の実施
(4年生みさきの家, 5年生花背山の家)



－ 健やかな体の育成 －

体力向上・食育

全国体カテストの数値が男女ともに全国平均を下回る状況を改善するため、小中高の全校全学年で「新体カテスト」を実施するなど、子どもたちの体力向上に向けた取組を推進しています。

また、本市独自に作成した、食育スタンダードに基づき、各校において創意工夫を凝らした食育を推進しています。

推進施策

- ・ 全校全学年での「新体カテスト」の実施
- ・ ジャンプアップ・プロジェクトの実施
- ・ 運動部活動の充実（外部コーチ派遣・部活動指導員）
- ・ 部活動ガイドラインの策定
- ・ 栄養教諭の全小学校への配置
- ・ 日本料理に学ぶ食育カリキュラム推進事業
- ・ 月1回の和（なごみ）献立の提供（小学校）
- ・ 選択制中学校給食の充実



－様々なニーズに応じた教育－

総合育成支援・ いじめ・不登校対策

医療的ケアが必要な子ども等，一人一人のニーズに応じたきめ細かな教育を推進しています。

また，いじめや不登校に対応するため，スクールカウンセラー（ＳＣ）・スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）の配置拡大等により，教育相談体制の充実を図っています。

推進施策

- ・ 医療的ケア実施体制の整備推進（看護師配置）
- ・ 入院児童生徒等へのICTを活用した遠隔教育の実施
- ・ 第16回アビリンピック京都大会
総合支援学校高等部生徒が最優秀賞受賞
（ビルクリーニング部門・喫茶サービス部門等）
- ・ 京都市子ども未来会議の開催
- ・ 全校に配置しているＳＣの配置時間拡大
- ・ ＳＳＷの全中学校区への配置



－教職員の多忙化解消－

働き方改革

「働き方改革推進宣言」の下，保護者や地域の御理解と参画，外部人材や専門スタッフの配置拡大等により，教職員が子どもと向き合う時間を確保し，教職員の長時間勤務の解消に向けた取組を推進しています。

推進施策

- ・ 学校・幼稚園の働き方改革推進宣言の発信
- ・ 校務支援員（36校園→70校園），部活動指導員（51名→100名）の配置拡大
- ・ 中学・高校部活動での外部コーチ派遣
- ・ 教務主任補佐の配置（小学校8校に8人）
- ・ 専科教員の配置（小学校5・6年生に配置）
- ・ 教職員出退勤管理システムの導入
- ・ 学校閉鎖日の拡大
- ・ 部活動ガイドラインの徹底





— 新しい時代の教育 —

未来型教育・ICT環境

予測困難な時代を生きる子どもたちの情報活用能力等を育成するため、AIを活用した最先端の実践研究やLINEと連携したプログラミング教育など実践研究を進めています。また、普通教室へのインターネット接続環境の整備等ICT環境の計画的な整備を促進しています。

推進施策

- ・ NEC, 京都大学との連携による未来型教育 京都モデル実証事業
- ・ LINEとの包括連携協定に基づくプログラミング教育の充実
- ・ 京都大学, 西京高校, 西京附属中学校が連携した「エビデンスに基づくテラーメイド教育の研究開発」(内閣府プロジェクト)の実施
- ・ 全普通教室への無線LANの整備
- ・ タブレット型PCの計画的整備



－京都市の目指す子ども像－

伝統と文化を受け継ぎ
次代と自らの未来を
創造する子ども



京都市教育委員会